



2018年度

(2019年3月期)

決算報告

NSユニテッド海運株式会社

2019年4月26日

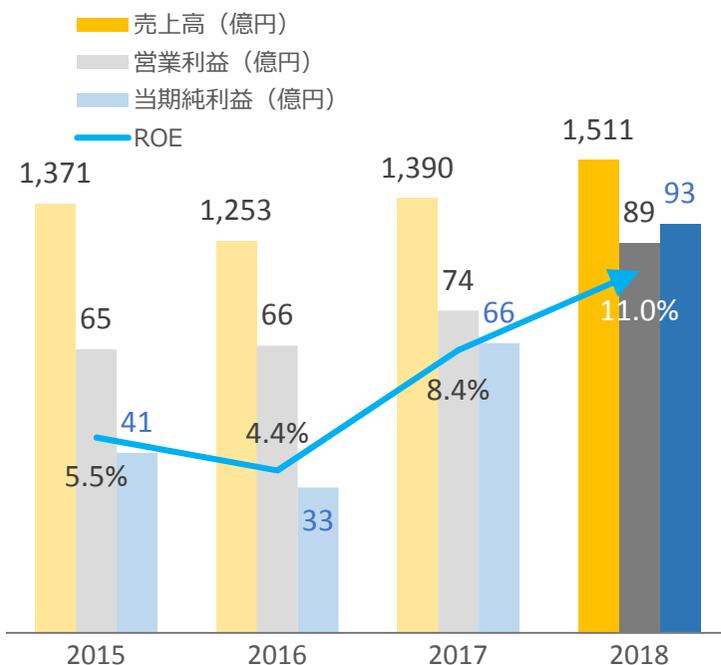
目次

1.	2018年度業績のポイント	p. 2
2.	2018年度決算の概要	p. 3
	セグメント別概況	p. 4
3.	2019年度業績の見通し	p. 5
	対前年同期比変動要因	p. 6
4.	中期経営計画の進捗状況	p. 7
	環境保全への取り組み	p. 8
(ご参考)	期末運航船腹	p. 10
	当社当期純利益と株価の推移	p. 11

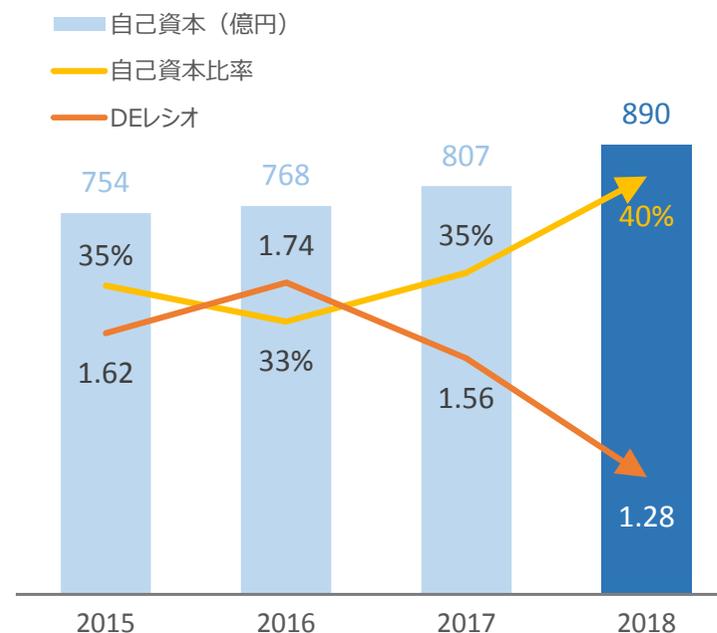
1. 2018年度業績のポイント

2019年初、ブラジルでの鉱山ダム決壊に伴い、ケーブサイズバルカーを中心に市況が低迷するも、市況下落に対する耐性の強さを発揮し、前年度比で増収増益。

◆ 営業利益と当期純利益



◆ 自己資本とDEレシオ



インダストリアルキャリアとしての事業基盤を活かし、海運不況の中でも安定的な利益を確保。

市況回復局面においてはコモンキャリア的側面を活かし、着実に利益を積上げる。

継続的な利益の積み上げにより、健全かつより安定した財務体質を構築。

2.2018年度決算の概要

前年度比 増収増益

◆ 10年ぶりに実施した中間配当=50円/株に加え、期末配当=65円/株を予定 (従前発表通り)

【連結】 (単位：億円)	2017年度							2018年度							通期 前期比 増減
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	
売上高	343	334	677	361	352	713	1,390	375	386	761	397	352	750	1,511	+ 121
営業利益	20	19	38	27	8	35	74	19	29	48	25	17	42	89	+ 16
経常利益	16	16	31	24	1	24	56	18	26	45	19	14	33	78	+ 22
親会社株主に帰属する 当期純利益	20	17	37	26	3	30	66	12	32	44	26	23	50	93	+ 27
期中平均為替レート	¥111.00	¥111.00	¥111.00	¥112.33	¥110.33	¥111.33	¥111.17	¥108.00	¥111.33	¥109.67	¥112.33	¥111.00	¥111.67	¥110.67	
燃料油単価(C重油)	\$344	\$325	\$334	\$351	\$397	\$374	\$354	\$411	\$448	\$429	\$480	\$446	\$463	\$446	

連結キャッシュ・フロー概要

営業CF		89		69	158		98		101	200
内、減価償却費		80		76	156		74		72	146
投資CF		▲ 26		▲ 40	▲ 65		▲ 6		▲ 45	▲ 50
フリーCF		64		29	93		93		56	149

2.2018年度決算の概要

セグメント別概況

外航 ドライバルク市況が乱高下する中、各四半期とも安定した営業利益を確保
前年度に比べ入渠増による稼働日数減も、効率的な運航に努め増収増益

内航 概ね見込通りの輸送量を確保。台風による影響を受けるも、効率的な運航に努め増収増益

(上段：売上高、下段：営業利益)

【連結】 (単位：億円)	2017年度							2018年度							通期 前期比 増減
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	
外航	288	276	565	303	294	597	1,162	314	326	640	335	291	626	1,266	+104
	19	14	33	22	5	27	60	14	24	39	18	12	30	69	+9
内航	54	56	110	56	57	113	223	60	59	119	63	61	124	243	+19
	1	5	5	5	3	8	13	5	5	9	6	5	11	20	+7
その他 及び調整額	1	1	2	1	2	3	5	1	1	2	▲0	▲0	▲0	2	▲3
	▲0	▲0	▲0	▲0	0	0	▲0	▲0	▲0	▲0	0	▲0	▲0	▲0	▲0
合計	343	334	677	361	352	713	1,390	375	386	761	397	352	750	1,511	+121
	20	19	38	27	8	35	74	19	29	48	25	17	42	89	+16

3.2019年度業績の見通し

新造船投入により下期業績改善

上期 SOx排出規制強化を前に運航船へスクラバーを搭載するための入渠を順次実施。そのため、船舶稼働率が低下し、一時的に収益が低下。

下期 長期契約により安定収益が期待できる新造船竣工が本格化。これにより収益性が向上するとともに、海運市況下落に対する耐性が一層強化。

【連結】 (単位：億円)	2018年度			2019年度			前期比 増減
	上期 (実績)	下期 (実績)	通期 (実績)	上期 (予想)	下期 (予想)	通期 (予想)	
売上高	761	750	1,511	730	810	1,540	+29
営業利益	48	42	89	22	55	77	▲ 12
経常利益	45	33	78	15	47	62	▲ 16
親会社株主に帰属する 当期純利益	44	50	93	33	42	75	▲ 18

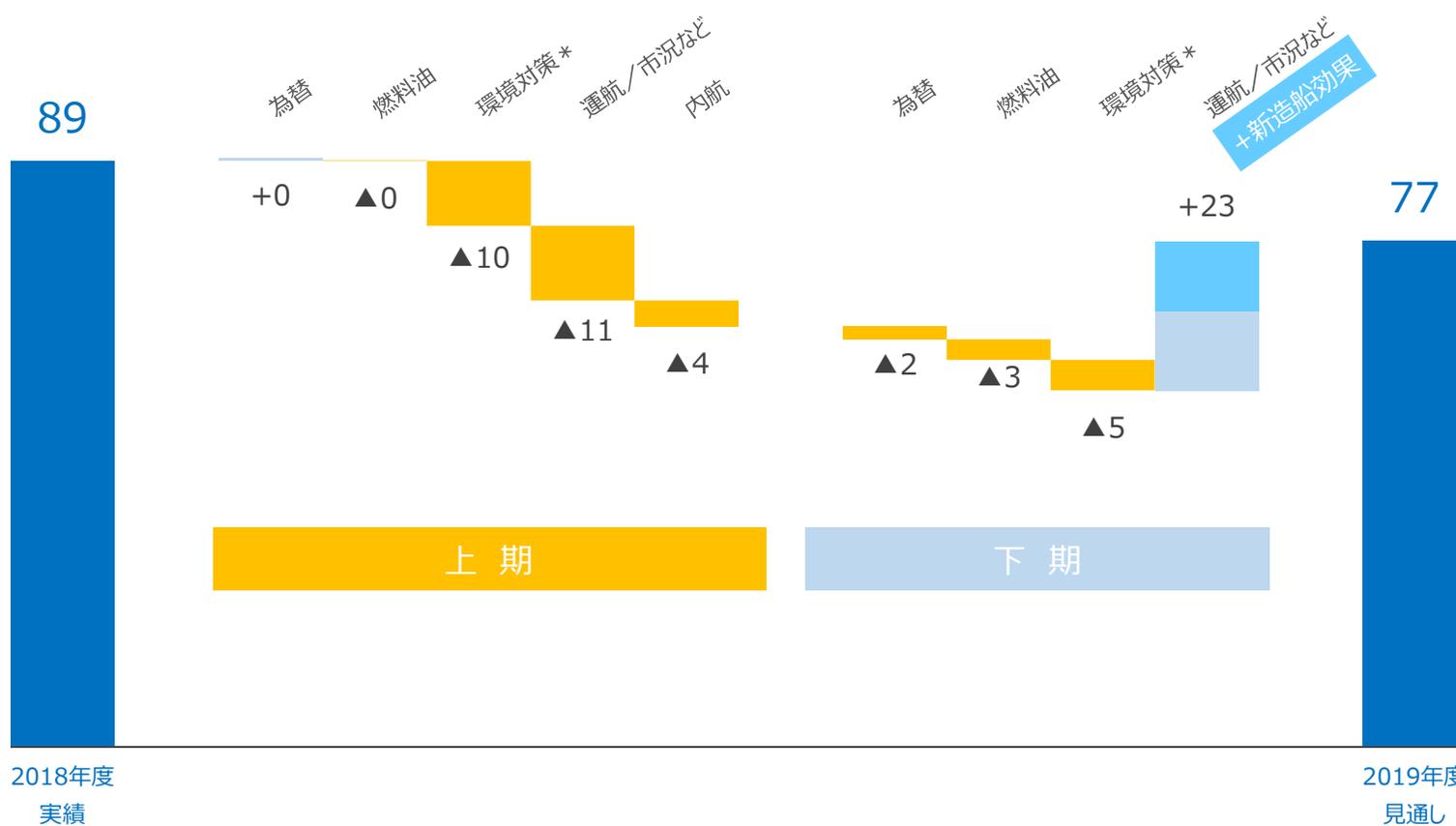
◆2019年度 為替前提 ¥110、燃料油価格前提 C重油：\$435/MT、低硫黄C重油：\$650/MT

◆用船市況 (太平洋水域)		2018年度			2019年度		
		上期	下期	通期	上期前提	下期前提	通期
船型	ケーブサイズ	\$17,946	\$12,057	\$15,025	\$13,000	\$18,000	\$15,500
	パナマックス	\$10,571	\$9,051	\$9,817	\$11,000	\$11,000	\$11,000
	ハンディマックス	\$11,078	\$8,788	\$9,942	\$11,000	\$11,000	\$11,000
	スモールハンディ	\$8,299	\$6,670	\$7,491	\$9,500	\$9,500	\$9,500

3.2019年度業績の見通し

◆ 対前年同期比変動要因（営業利益）

単位：億円



* 主にSOxスクラバー搭載関連費用

4. 中期経営計画「NSU2021」進捗状況

～ さらなる成長に向けて ～



◆安定収益事業の拡充

- 日本製鉄など内外製鉄会社と中・長期輸送契約を締結
- 国内電力会社向け内航専用船契約獲得
- 2019年度より大型鉬石船（Valemax）運航開始

◆「NSU2021」目標達成に向けた着実な歩み

◆営業利益と当期純利益



2018年度	2019年度	2020年度～
戦略的船隊整備に伴う船腹入替えの中、前年度比増収増益	下期より省エネ型新造船の竣工が本格化し前年度比で収益力アップ	新たに締結した長期輸送契約がフル稼働となり、一層の収益力アップが図られる

<2019年度：中計見通し 92億円 → 今回見通し 77億円>

- ・中計策定時点で未定だった環境対応投資（SOxスクラバー搭載）を実施、船腹の不稼働により機会損失が発生。
- ・これにより、2020年度以降、燃料費節減効果が期待されることから、中計に掲げた目標（2021年度営業利益：120億円）の達成を見込む

4. 中期経営計画「NSU2021」進捗状況

～ 環境保全への取り組み ～

外航：「SOx 規制」への対応（2019年度）

「SOx規制」とは？

MARPOL条約（船舶による汚染防止のための国際条約）で規定された、船舶からの排ガスに含まれる硫酸化物（SOx）を抑制するための規制。2020年1月から、硫黄分が0.5%を超えない燃料油の使用が義務に。代替手段として、排ガスの硫黄分を規制値以下に低減する装置の使用が認められる。

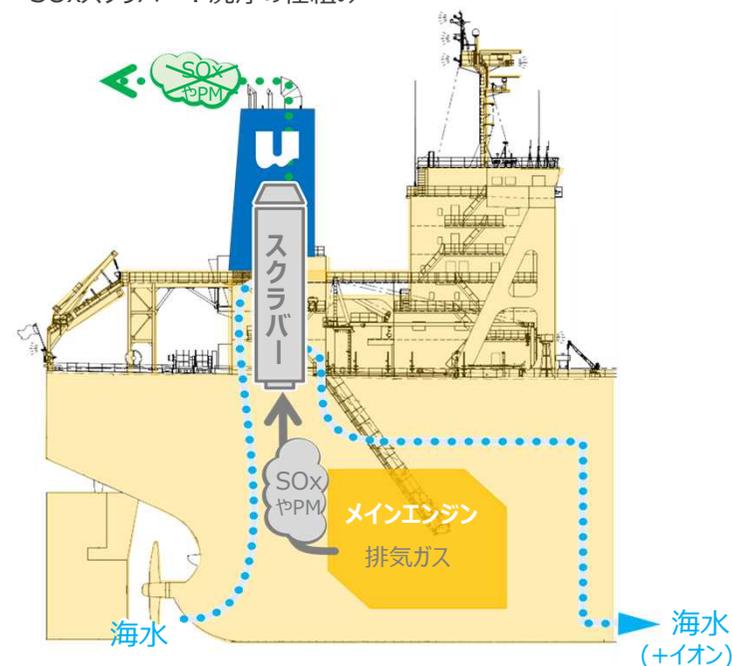
「SOxスクラバー」とは？

排ガス中のSOxや微細な粒子状物質(PM)を、洗浄水（海水）に吸収させ、大気中への排出を抑制する装置。吸収された成分は、もともと海水に存在する害のない物質（イオン）にして排出される。

「SOxスクラバー」のアドバンテージとは？

環境に配慮しながら低価格の高硫黄重油を使用可能なことから、燃料費を節減し収益を押し上げる効果が期待できる。

SOxスクラバー：洗浄の仕組み



当社新造船への搭載作業の様子



4. 中期経営計画「NSU2021」進捗状況

～ 環境保全への取り組み～

内航 ハイブリッド船運航開始（2018年度）

- ・リチウムイオン電池搭載型内航鋼材船「うたしま」
（総トン数499トン／2019年2月27日竣工）
- ・内航貨物船として初めてハイブリッド推進システムを搭載
（積載電池は一般的なハイブリッド車2,700台分）
停泊時・湾内航海時におけるCO2ゼロエミッションを実現。
「ゼロカーボン・シップ」の実現への第一歩。
- ・内燃機関（ディーゼルエンジン）を使わないため、低振動・
低騒音を実現。加えて乗組員の労務負荷軽減にも寄与。
内航船員の「働き方改革」に向けた取り組み。



瀬戸内海を航行する「うたしま」

常用航海時（太平洋上など）

ディーゼルエンジンで航行しながら、
リチウムイオン電池へ充電。

停泊時

船内電力は充電池から供給。
さらに陸上の電源設備から急速充電。

湾内航行時

メインエンジンは
使用せず
充電池により
プロペラを駆動。

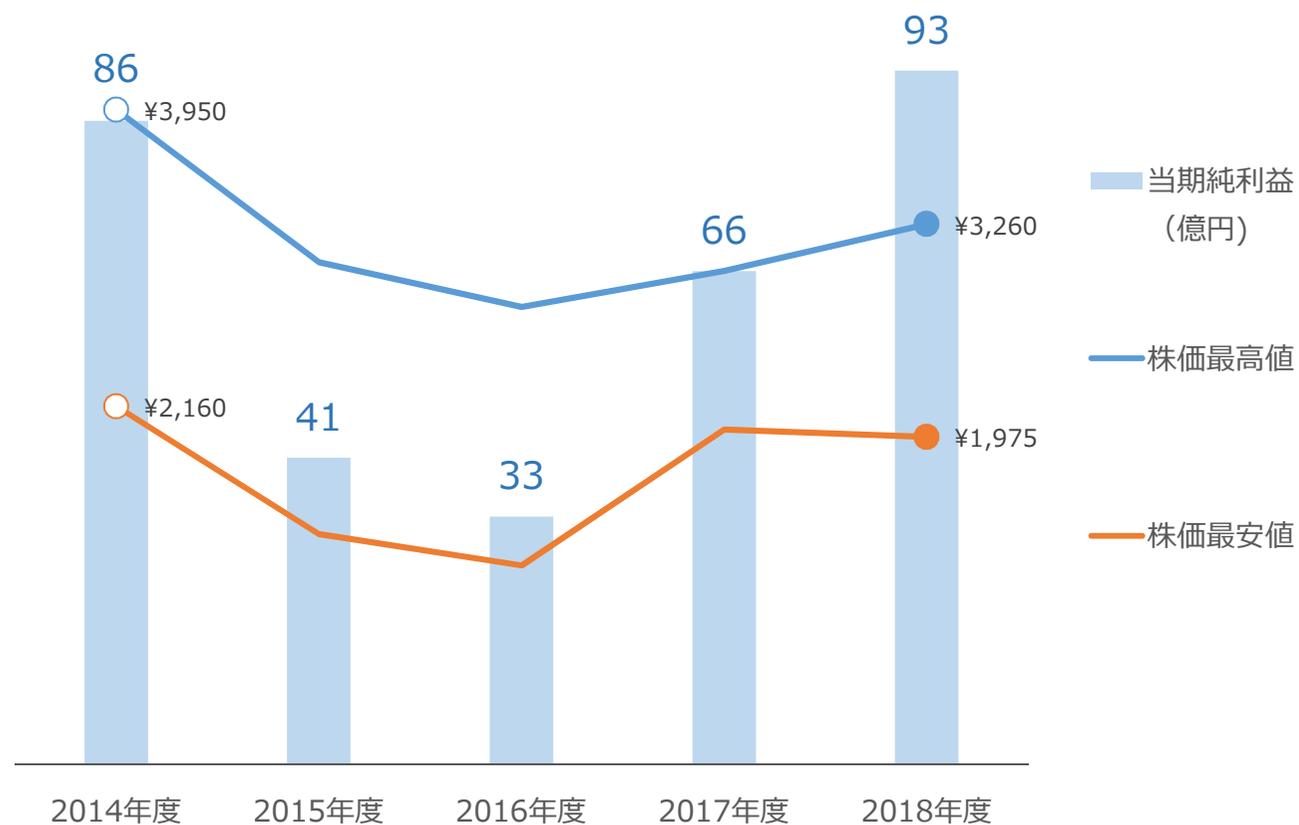


進水式の模様（於.小池造船所）

(ご参考) 期末運航船腹

船種	2018年3月末 合計	2019年3月末			18/3末比 増減
		所有	用船	合計	
鉄鋼原料船	45隻	25隻	17隻	42隻	▲ 3隻
パナマックス	24隻	4隻	13隻	17隻	▲ 7隻
ハンディマックス	13隻	1隻	11隻	12隻	▲ 1隻
スモールハンディ	18隻	2隻	21隻	23隻	+ 5隻
近海船	24隻	0隻	23隻	23隻	▲ 1隻
LPG/原油タンカー	4隻	4隻	0隻	4隻	-
外航船 小計	128隻	36隻	85隻	121隻	▲ 7隻
内航船	78隻	22隻	58隻	80隻	+ 2隻
合計	206隻	58隻	143隻	201隻	▲ 5隻

(ご参考) 当社当期純利益と株価の推移

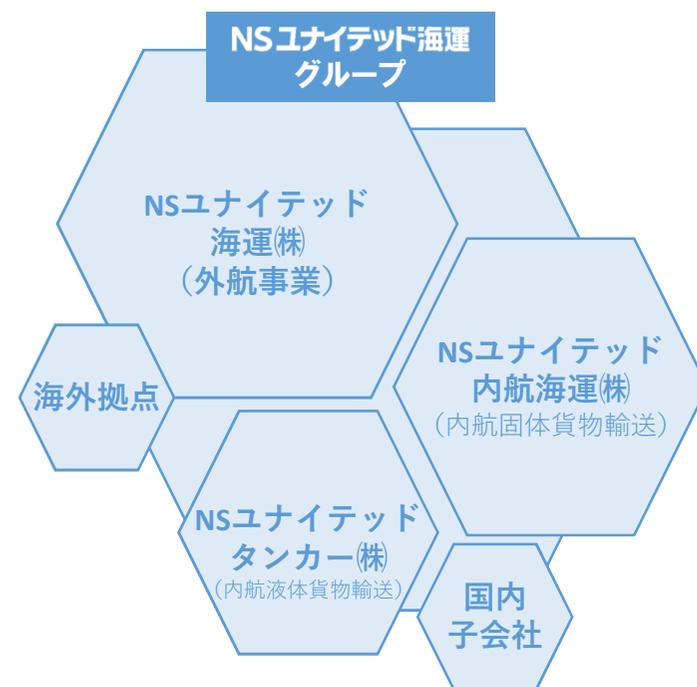


NSユニテッド海運株式会社

NSユニテッド海運グループは、
誠実で良質な海上輸送サービスの提供を通じて
社会の発展に貢献します。

(本資料に関する注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。



当社ウェブサイト：<http://www.nsuship.co.jp>

本資料についてのお問い合わせ先：03-6895-6411